

再評価チェックリスト

1 事業概要

事業の名称	府中都市計画3・2・2の2号線及び 国立都市計画道路3・3・2号線		評価該当要件	10年間継続	1回目
実施主体	東京都(建設局)	事業所管部署	道路建設部街路課		
都市計画決定(当初)	昭和37年度	事業認可年度(当初)	平成23年度	事業期間: H23年度～30年度	
都市計画決定(最新)	平成22年度	事業認可年度(最新)	平成30年度	事業期間: H23年度～R7年度	
事業箇所	府中市西原町一丁目～国立市谷保	事業規模	評価対象区間延長	1,300m	
事業概要	<p>本路線は、三鷹市牟礼一丁目を起点とし、調布市、小金井市、府中市、国立市、日野市を経由して八王子市南浅川町に至る延長約34.2kmの都市計画道路(東京八王子線)のうち、府中市西原町一丁目(新府中街道)から国立市谷保(甲州街道)までの延長1,300m区間に幅員36m～41mの都市計画道路を整備するものである。</p> <p>本路線は、区部の放射第5号線と一体となって多摩地域と区部の連携を強化するとともに、甲州街道をはじめとする周辺道路の渋滞緩和等に寄与する重要な路線である。また、周辺が主に住宅地であることから、沿道環境に配慮し、幅員10mの環境施設帯を車道の両側に配置することにより、みどり豊かな植樹帯と快適な歩行者空間を形成する。</p>				

2 社会経済情勢等の変化(事業の必要性等に関する視点)

社会経済情勢等の変化 (認可時点から変化がある場合は変化・変更内容欄に記載)
(社会経済情勢の変化)
<p>本路線周辺の平成27年度の現況交通量は、平成22年度と比較して、ほぼ横ばいとなっている。</p> <p>○現況自動車交通量【新府中街道】(道路交通センサスによる) 平成22年:24,338台/12h 平成27年:22,117台/12h</p>
(関連する他事業等の進捗状況の変化)
<p>東京八王子線の起点となる三鷹3・2・2号線と放射第5号線が令和元年度に交通開放された。</p> <p>また、本路線と交差する新府中街道のうち国分寺3・2・8号線(府中市武蔵台三丁目～国分寺市日吉町四丁目)約1.1kmが平成28年度に交通開放された。</p>

3 事業の投資効果(事業の必要性等に関する視点)

定量的効果 B/C	2.1		
現在価値化総便益額(B)	519.0億円	現在価値化総費用額	244.5億円
走行時間短縮便益	481.6億円	工事費	39.8億円
走行経費減少便益	32.4億円	用地費	194.2億円
交通事故減少便益	5.0億円	維持管理費	10.5億円
定性的効果	<p><交通></p> <ul style="list-style-type: none"> 交通渋滞の解消 物資流動円滑化への寄与 バスの定時性 迂回交通の減少 <p><防災></p> <ul style="list-style-type: none"> 緊急車両の走行 災害時の避難路の確保 延焼遮断 <p><安全></p> <ul style="list-style-type: none"> 交通事故の減少 バリアフリー化 自転車や歩行者のための空間確保 <p><景観></p> <ul style="list-style-type: none"> 都市景観の向上 <p><<らし>></p> <ul style="list-style-type: none"> 公共施設へのアクセス向上 		

4 事業の進捗状況(事業の必要性等に関する視点)

事業費の執行状況 (R1年度末時点)			
	用地費	工事費	合計
全体事業費	16,137百万円	3,380百万円	19,517百万円
執行済額	15,512百万円	1,803百万円	17,315百万円
(執行率)	96.1%	53.3%	88.7%
用地取得状況 (R1年度末時点)			
取得予定面積(A)	既取得面積(B)	用地取得率(B/A)	
45,600㎡	43,774㎡	96.0%	
一定期間を要した背景、地元の理解・協力の状況			
<ul style="list-style-type: none"> 共有私道など多数の地権者との用地折衝に時間を要している。 環境施設帯のつくり方検討会や説明会の開催等により地元の協力を得ながら事業を進めている。 			
事業の進捗状況・残事業の内容			
<ul style="list-style-type: none"> 平成28年度より工事を開始しており、工事前搬入路設置工事やJR南武線交差部の桁架設が完了している。 今後、排水管設置工事、電線共同溝設置工事やJR南武線交差部の擁壁設置工事、上部仕上げ工事を進めていく。 			

5 事業の進捗の見込みの視点

事業の実施のめど、進捗の見通し等
<ul style="list-style-type: none"> 引続き、用地取得を進める。 JR南武線交差部の擁壁設置や上部仕上げ工事を進める。 用地取得箇所より順次、排水管設置工事、電線共同溝設置工事を進める。

6 コスト縮減や代替案立案等の可能性の視点

コスト縮減や代替案立案等の可能性
(新工法の採用など)(事業手法、施設規模等の見直しの可能性)
<ul style="list-style-type: none"> 擁壁設置については、コスト比較を行った上、最も経済的なものを採用しており、契約・施工中であるため、新工法、事業手法、施設規模等を見直す可能性はない。 一般的な街路築造工事であるため、施工にあたって、新工法の採用等による新たなコスト縮減の可能性は極めて少ない。 平面の街路築造工事であり、工事も進捗していることから、事業手法、施設規模等を見直す可能性はない。
その他のコスト縮減の取組
<ul style="list-style-type: none"> 施工にあたっては、建設発生土の再利用や再生材の使用を行っていく。

7 対応方針案

総合評価	<p>本路線の整備により、区部の放射第5号線と一体となって、多摩地域と区部の連携の強化や、甲州街道をはじめとする周辺道路の渋滞緩和が図られるとともに、生活道路への通過交通の排除による良好な居住環境の確保や、延焼遮断帯の形成による地域の防災性の向上等の効果が期待できる。</p> <p>中止の場合は、整備効果を発揮できないだけでなく、これまでの投資に見合った効果も得られなくなる。</p>
対応方針案	継続